

第9回 函館市自治基本条例策定検討委員会要旨

日 時 平成20年2月19日(火) 18:30~19:40
場 所 市役所本庁舎 8階第1会議室

1 開 会

2 ワークショップの結果について

(横山委員長)

1月と2月は、ワークショップを5回行った。検討委員のなかでも5回のうち数回あるいは全部出た方もいらっしゃるが大変ご苦労様。私も全て出たかったが、2月6日と18日に出られず、丸藤委員には苦労をかけた。私に代わり総合コーディネーターを務めていただきお礼申し上げます。今日から検討委員会を再開するが、最初にワークショップの結果について、事務局から報告をいただきたい。

(事務局)

ワークショップについて、検討委員の方へ出席いただきお礼申し上げます。一般公募の市民を対象にワークショップを5回行った。ほかに市の職員を対象にしたワークショップ、町会連合会への出前ワークショップも開催した。意見の概要について説明申し上げます。

(資料説明 第1回~第4回ワークショップの意見の概要について)

次に市職員、町会連合会でのワークショップの意見の概要について説明申し上げます。

(資料説明 市職員ワークショップ、町会連合会ワークショップの意見の概要について)

次回5回目のワークショップ、出前ワークショップの意見の概要を示したいと考えている。

(横山委員長)

以上、ワークショップの意見について、事務局から報告を受けたが、これについて何か質問あるか。第5回目については、昨日開催したため意見のとりまとめが出来ていないが、参加者は何人いたのか。

(事務局)

18人参加した。

(横山委員長)

毎回、参加者が減っていったようであるが、1回目が43人、2回目が31人、3回目が24人、4回目が19人、5回目が18人ということであった。何か質問等あるか。

無ければ、次に、今後、合併4地域でのワークショップの開催や団体への出前ワークショップを開催する予定であるが、日程について事務局からお知らせいただきたい。

(事務局)

2月25日に榎法華・南茅部地域を対象に南茅部の公民館で18:00から開催する。翌日の26日に戸井・恵山地域を対象に戸井の生涯学習センターで18:30から開催する。検討委員におかれても参加をお願いしたいと考えている。27日に女性会議に出前ワークショップを行う。3月には青年会議所を対象に開催したいと考えている。3月11日に高校生ワークショップとして、市立函館高校で13:30から開催する。

(横山委員長)

この件について、質問等あるか。旧合併4地域については、委員でどなたか行ける方を決めたいと

思うが、いかがか。

○ 2月25日参加者 佐々木委員，丸藤委員，

○ 2月26日参加者 市居委員，佐々木委員，長尾委員

○ 3月11日参加者 市居委員，大久保委員，佐々木委員，長尾委員，丸藤委員

それから，報告事項として，前文起草委員会の状況について，お知らせいただきたい。

(板本委員)

おおよそできてはいるが，もう少し精査することがあり，今日，この後集まることになっている。

(横山委員長)

了解した。一つよろしく願います。

3 今後の進め方について

(横山委員長)

これからの検討委員会の議論の具体的な進め方について，協議をしたいと思う。私の方で考えていることを最初に申し上げるが，大項目もしくは中項目ごとに，例えば情報や議会の責務，協働・参画などのようなテーマで議論していくことになる。各章になるような部分を中心に議論したいが，なかにはもう少し細かい部分でやらざるを得ないところもあると思う。住民投票について議論するとすれば，章立てにしても良いが，もう少し小さな節になると思うが，おそらく，それだけで会議1回分の時間がかかると思う。大項目あるいは中項目ごとに議論するが，例えば情報について議論するとき，それが大項目あるいは章にはならないというのであれば，それはもちろん議論のあと，章立てを改めて考える形にしたいが，大体大項目，中項目ごとに議論を進めていきたい。委員からも大項目，中項目について出されているので，それを参考にしながら進めたい。もう一つは，議論の際に意見が活発に出れば良いが，出ない場合もあると思うので，誘導するつもりはないが，ヒントとなる資料として，私の方で委員長論点メモのようなものを毎回用意したいと思う。それが無くても大丈夫というのであれば出さないことに越したことはない。活発な議論がなされる項目もあると思うが，そうでない項目もあると思うが，いかがか。

(敦賀委員)

提示していただくと助かる。

(横山委員長)

それでは，簡単に論点を整理したメモを出したいと思う。もちろんそれに囚われず議論をしていただきたいと思う。何か進め方について意見があれば伺いたい。それから，事務局にお願いしたいが，一番最初の会議で，帯広市や稚内市，ニセコ町，旭川市，下関市，箕面市，厚木市の条例の資料があるが，自治基本条例もしくは行政基本条例に関するものとして，もう3つくらい他都市のできれば本州の条例を提出願いたい。

(敦賀委員)

規模的に，中核市のなかで，函館市と同じような環境に近いところが良いと思う。

(横山委員長)

総合規定型の自治基本条例か行政基本条例が良いと思うが，1回目の資料では中核市の資料があるが，総合規定型の条例を作っているわけではないようだ。委員の方で希望はあるか。

(事務局)

私たちの方で探してみたいと思う。

(横山委員長)

大和市，苫小牧市，岸和田市など，参考として提出していただきたい。

(大久保委員)

観光都市で似たようなところがあれば，お願いしたい。

(横山委員長)

観光都市についても希望としてお願いする。金沢市も市民参加条例，高知市もちょっと違うが，探していただくことにする。

(若杉委員)

海外では，自治基本条例はあるのか。

(横山委員長)

詳しくはわからないが，憲章などはおそらく自治体ごとにあると思う。

(若杉委員)

日本の既に出てきているところを参考にすると似たようなものが出来るという気がするが。

(横山委員長)

あまり紹介はされていない。個別の条例は時々出たりするが。

(丸藤委員)

この間，まちづくりセンターに，オーストラリアのまちの職員の方が訪ねてきた。その方は2025年に向けたビジョンということで，多分似たようなものを作った担当者で，市民の意見を取り入れながら作ったようだ。パンフレットを置いていったが，英語は分からないが，雰囲気は伝わってくる。一般の人にPRするビジュアルは参考になる。内容より決め方の手順で，今までは行政主導だったらしいが，そのビジョンを決めるときにかなり市役所内部では反対意見があったようだが，市民の意見を多く取り入れるビジョンを作るため頑張ったようだ。このパンフレットのプロセスが参考になる。全部英語なのでよく分からないが。

(横山委員長)

それも資料で英語のままでも良いので出していただきたい。地方自治の研究者の方も外国に自治基本条例があるのかないかわからないが，やはり個別具体の政策の研究が多いと思う。自治基本条例のようにまちづくりの大元ではあるが，抽象的で即どうこうということはないので，やはり即効性のある研究に走るといふ事になると思う。個別の環境条例の紹介などは結構あるが。それでは，今後の進め方で特に何かあるか。

(市居委員)

大項目，中項目について，私たちが以前出したものをまとめていただき，その順番で議論していくことになるのか。

(横山委員長)

そのようになる。出していただいた意見は全て議論したいと思う。第6回の会議で資料をまとめているが，参画・協働，情報共有から入る形になると思う。結構，議論の時間はかかると思う。一応予定では8月の下旬には条例案をとりまとめたい。これから月2回ぐらいのペースで7，8月は月に3回ぐらい開催しなければいけないかも知れない。全部で12，13回ぐらいでまとめられると思っているが，もちろん議論がどうなっていくかにもよるが。

それでは次回の開催だが3月に1回，4月に1回開催したいと思うがいかがか。

- ・ 第10回 3月26日(水)
- ・ 第11回 4月4日(金)
- ・ 第12回 4月17日(木)

に開催する。事務局からフォーラムについてお知らせ願いたい。

(事務局)

3月23日(日)午後1時30分から2時間程度予定している。場所はホテル函館ロイヤル、詳細については、市政はこたてやホームページで広報するほか、委員の方には個別にお知らせしたい。所属団体の方にもお知らせいただきたいと思います。

(横山委員長)

詳細はまだ決まっていない。パネラーもまだ決まっていない。これから会議もしばらく無いが、私自身も海外へ行っているため、フォーラムが終わってから検討委員会を開催する。フォーラムについては詳細が決まり次第、委員に連絡する。事務局からは委員の方でパネラーになっていただけるか、今後、打診があるかと思うがそのときはよろしくお願ひしたい。何か質問あるか。

(丸藤委員)

会議とは別に自主的な勉強会を開催したいと思うが。

(横山委員長)

それは一向に構わないと思う。道庁でも道州制特区の委員会があるが有志で集まって、勉強をしている。その場合、道職員も同席しているようだが、市の職員とも良く打ち合わせをしていただき、有志でやられると良いと思う。

(丸藤委員)

未来大学に未来学を教えているデービット先生がおり、日本語にも精通しているので、まちのビジョンを作る際に、有志で集まり勉強したいと思う。

(横山委員長)

是非、実施して欲しいと思う。

(板本委員)

3月26日の会議では条文の大項目に入るわけで、順番はこのとおりになるのか。

(横山委員長)

どこから入るか私もまだ決めていない。

(板本委員)

突然だと議論に困る。

(横山委員長)

私が10日に帰ってくるので、その週に何から始めるか、委員長メモを作り、事務局の方から委員に送ることにしたい。

(長尾委員)

次の26日の会議までに前文を提出しなければいけないか。

(横山委員長)

次回以降でも構わない。起草委員会の案については、遅れても問題ないと思う。出来次第報告願う。

(板本委員)

以前、会議で他の自治体の進め方について意見交換を行うような話が出たと思うが、私もこれまでやってきて非常に聞いてみたい気がするがいかがか。

(横山委員長)

一度、検討委員会に来ていただいてという形で。

(板本委員)

近いところでは、苫小牧市など、稚内市では苫小牧に行かれたようだ。

(横山委員長)

稚内では、私も行ったが検討委員会のメンバーで、議論する前に苫小牧に行ってきた。私たちが行くとなると予算のこともあるので。逆に苫小牧や稚内の方を呼ぶ予算くらいはあるか。

(事務局)

予算は別にして、どの辺の話を知りたいかということもある。内部的にも検討の時間をいただきたい。

(横山委員長)

苫小牧市は、行政が手を加えないで市民参加で苦労して作った。そういう方を呼ぶことも一つの方法だと思う。それから帯広は体系的にやられていて、行政の方もしっかりしていたし、市民検討委員会もかなり充実した議論をしていた。

(事務局)

運営方法は、市それぞれだと思う。どの辺を知りたいかということになると思う。

(丸藤委員)

苫小牧に関わってやられた方は、NPOを設立しているし、私も個人的に知り合いなので、頼みやすい。まちづくりセンターの講座として、呼びすることもできる。

(横山委員長)

ほかに何かあるか。なければ本日はこれで終了する。

4 閉 会